

SDGsについて知ろう！伝えよう！

所 属	愛知県尾張旭市立東中学校	実践者	勝又 基之
対 象	中学１年生（２８８名）	実践日	２０２３年 １０月～３月
実践教科	総合的な学習の時間	時間数	第１次・５時間／第２次・６時間
ねらい	・SDGsについて理解を深める。 ・SDGsを自分ごととして考え、主体的に社会に関わる姿勢を育てる。		
実践内容	回	プログラム	備 考
	１	「貧困から学ぶSDGs」 ○貧困に苦しむ人々の生活について考える。【イメージマップ】 【ギャラリー方式】 ○貧困の人々の生活はSDGsのどの目標と関連しているか考える。 ・貧困からイメージしたものと関連するSDGsの目標は何番かを考え、イメ ージマップ上に目標カードを置く。 ☆ SDGsの１７の目標はお互いに関連していることに気付く。	・名前ペン ・模造紙 ・SDGs目標カード
	２	「SDGsと自分たちとの関わり」 ○他国とのつながりや環境問題からSDGsと自分たちとの関わりを考える。 【スマホはどこから？】【どの村に住みたい？】 ☆ <u>全世界がSDGsの目標達成のために行動しなくてはならないことに</u> <u>気付く。</u>	・白地図 ・世界貧国ワースト ランキング(出典：IM F)
	３	「気になる目標の調べ学習」 ○日本のSDGs達成度を予想し、自分の予想と現状とのギャップがある目 標の、日本の現状について調べる。 ○分散学習の訪問先に関連している目標の、日本の現状について調べる。 ☆ 日本の達成状況を知る。達成するためには、目標達成のために一人 一人が行動しなくてはならないことに気付く。	・名古屋SDGs街HP
	４	「分散学習」 ○SDGsに取り組む施設を７か所に分かれて訪問し、学ぶ。	・訪問先は下記備考 欄
	５	「分散学習で学んだこと」 ○学んだことを発表し合う。 ☆ <u>SDGsに取り組む施設が多くあることを知り、自分たちも目標達成の</u> <u>ために行動に移したいという意欲をもつ。</u>	
	６～１１	「学んだSDGsを伝える」 ○学んだことを用いてSDGsすごろくを作り、校区内の小学６年生に遊んで もらう。	
成 果	第１次で参加型の授業及び分散学習で自ら学び、気づく場を設定したことで、SDGsについて、より身近に感じることができた。また、そこで得た知識でSDGsすごろくを作ることで、よりSDGsについて自分事にすることができた。		
課 題	分散学習では、予約の都合上、先に訪問場所が決まっていたが、気になる目標に合わせた施設を自分で選ぶことができると、より主体的に学ぶことができたと思われる。		
備 考	訪問先①でんきの科学館②名古屋市科学館③トヨタ産業技術記念館④エコパル名古屋⑤ネックスプラザ⑥愛知学院大学⑦メタウォーター下水道科学館あいち		